



No.139  
発行日:2024年2月13日

# 神奈川ネット 市政報告



市議 布瀬めぐみ



市議 吉田なな

## 鶴間・南林間に 図書室の整備を

12月の一般質問より

鶴間・南林間地区には身近に図書利用できるところがないという子どもを持つ市民の声が届いています。

大和市議 吉田なな

### 読み聞かせの効果

私は子どもが小さい時にはよく読み聞かせをしていました。「今日はこれの本を読んで」と子どもが好きな本を選んで持ってきて膝の上で聞かせたり、一緒にお布団に入りながら読みました。子どもたちもその時間を心待ちにしていて、決まったフレーズを口ずさんだりしたものです。私にとっても楽しい時間であり、貴重な思い出です。親子が触れあう大切な時間であったと思います。

長岡赤十字病院小児科医の田中篤氏は本の読み聞かせの効果を次のようにあげています。「子どもの言語能力や認知能力、社会性の発達を促す」「読書量の増加、学力の向上、自律神経の安定化」「子どもの不安や抑うつなどの減少」などです。

### 大和市の取組み

大和市は読書の持つ力に早くから着目し、図書関連施設の整備を進めるなど子ども読書の環境づくりに取り組んできました。4ヶ月のブックスタート、3歳6ヶ月のセカンドブックで絵本を配布し、子どもに絵本を読むことや、読み聞かせのきっかけを作っています。

### 市民からの声

鶴間・南林間地区には本を借りるところがないため、図書館がある大和や中央林間まで行かなければなりません。幼児を連れて本を借りに行くのはとても大変だという声があります。また林間地区に住む低学年の子どもが中央林間図書館やシリウスに行くには、

大きな幹線道路を渡らなければならず、子どもたちだけで行かせると不安という声もあります。

### 子どもを読書に導く場をつくるために

保健福祉センターや市役所など公共の空きスペースに、子どもが借りた本を予約したり受け取りができるコーナーや子どもが手に取って気軽に読んだり、勉強できる図書室を作ることにはできないか一般質問しました。「市は地域的な偏りがあることを課題として認識しているが、多額の予算も要することから現時点では計画していない」との答弁でした。しかし、市民が運営している「でごいち親子文庫」(囲み記事参照)のように、大きな場所でも

市民の需要を満たすことは、可能です。

「子どもを読書に導く場をつくる」という施策目標を達成されるためにも、鶴間・南林間地区に図書室を作るよう強く要望しました。

\*12月議会では他に「大和市の施設めぐり」について質問しました。



吉田ななの  
ホームページは  
こちらから↓



### でごいち親子文庫

「でごいち親子文庫」は南林間小学校、南林間中学校の近くでボランティアの方が絵本の貸し出しと読み聞かせを行なっています。

8畳くらいの部屋に4000冊以上の本が置かれ、とても素敵な空間です。親子の憩いの場であり、地域の方に愛されて47年活動されています。



#### 【本の貸し出し】

第1水曜日  
11:00~16:00  
(13:00~14:00 は昼休み)

第2第3水曜日  
14:00~16:00

敷地内に車(2台) 駐車可

一人4冊まで

貸し出し期間1ヶ月

### オスプレイ 永久に飛行停止を

布瀬 めぐみ(大和市議)

昨年11月、鹿児島県屋久島沖でアメリカ空軍の輸送機オスプレイが墜落し、乗員8人全員が死亡しました。事故当日やそれ以降も大和市上空をアメリカ海軍所属のオスプレイは4機編隊で低空飛行するなど飛行を続けました。空軍とは違う型だからというのが理由です。大和市は12月1日に事故原因の究明とオスプレイの飛行停止を緊急要請しました。神奈川ネットも12月4日、神奈川県知事に対し、飛行停止と原因究明を申し入れました。

オスプレイはこれまでも安全性の懸念が指摘されてきました。2005年に量産が決まり、配置が始まった後も各地で事故が発生しています。また、事故の原因などの調査結果は公表までかなりの時間がかかり、その間飛行し続けている状態です。オスプレイの飛行は、低空飛行以外にも、基地の上空に限定されているプロペラの転換モードの飛行が市街地上空でも行われている目撃情報が多数寄せられています。

12月6日、アメリカ軍は海兵隊などが使用するMV22を含む世界に配備している全ての種類のオスプレイの飛行を停止しました。

構造上の欠陥が指摘されているオスプレイが、このような重大事故を起こした以上、今後飛行が再開されることは市民の安全を軽視していると同じです。飛行再開されることのないよう、今後も訴えていきます。

論★点?